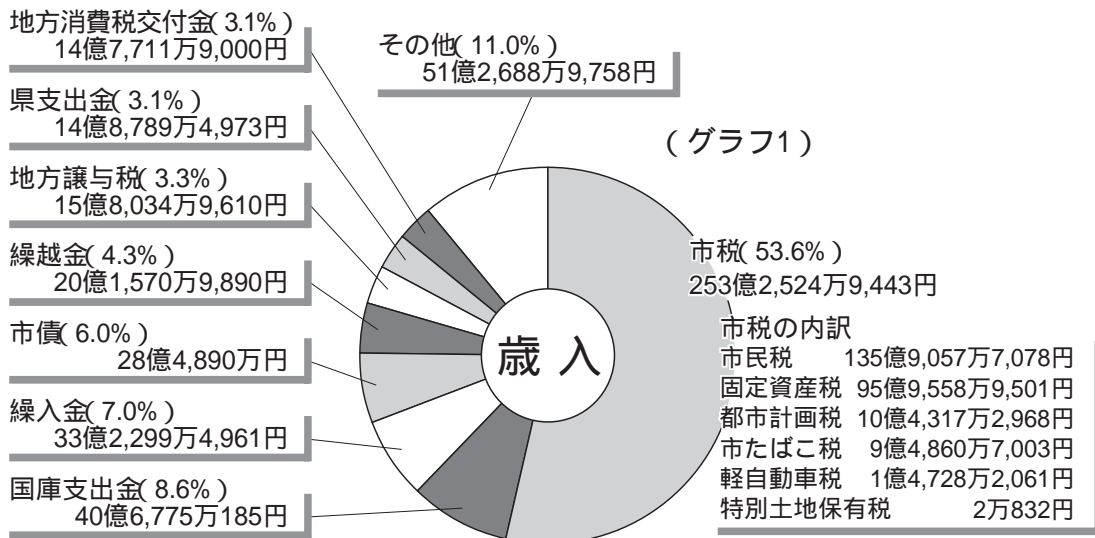


平成18年度の決算状況



その他の内訳

- 諸収入(2.0%)...9億5,821万3,648円
- 地方特例交付金(2.0%)...9億2,708万2,000円
- 使用料及び手数料(1.7%)...7億9,932万9,048円
- 国有提供施設等所在市町村助成交付金等(1.2%)...5億5,094万7,000円
- 財産収入(1.1%)...5億3,392万1,578円
- 分担金及び負担金(1.0%)...4億6,890万1,762円
- 自動車取得税交付金(0.7%)...3億4,581万2,000円
- 地方交付税(0.5%)...2億2,139万1,000円
- 配当割交付金(0.2%)...8,724万7,000円
- 利子割交付金(0.2%)...7,296万4,000円
- 株式等譲渡所得割交付金(0.2%)...7,133万2,000円
- ゴルフ場利用税交付金(0.1%)...4,945万287円
- 交通安全対策特別交付金(0.1%)...3,217万5,000円
- 寄附金(0.0%)...812万3,435円

歳入 472億5千285万7千820円

歳入は、市の財源として入ってきたお金で、前年度に比べ6.4%増えました。グラフ1はその内訳を表したものです。市税は歳入の半分以上を占め、法人市民税が増額となつたことで5.2%の増となりました。

平成18年度の一般会計決算がまとまり、第4回定例市議会にて認定されました。市の財政の中心の一般会計における歳入決算額が472億5千285万7千820円、歳出決算額が440億3千784万4千768円となりました。今月は、市民の皆さんの税金がどのように使われているか、お知らせします。

歳出 440億3千784万4千768円

次に多いのは国庫支出金で、福祉などにかかわる民生費関係の負担金が増額となっています。以下、繰入金、市債、繰越金、地方譲与税、県支出金の順になっています。また、市民の皆さん一人当たり換算した市税は15万9千182円で、前年度に比べ5.7%の増となりました。

歳出は、市民の皆さんのために使われたお金で、前年度に比べ3.9%増えました。グラフ2は、歳出を目的別に表したもので、民生費が最も多く、次いで総務費、衛生費、土木費の順になっています。

表2は、目的別の歳出を市民の皆さん一人当たり換算したもので、合計は27万6千800円で、前年度に比べ4.4%の増となりました。また、表3は、歳出を性質別に表したもので、人件費が最も多く、前

■歳入歳出総額

(表1)

区分	歳入	歳出
一般会計	472億5,285万7,820円	440億3,784万4,768円
特別会計	国民健康保険	136億9,514万9,527円
	下水道事業	50億7,096万895円
	老人保健	89億6,377万864円
	上広瀬土地区画整理事業	3億3,331万6,132円
	狭山市駅東口土地区画整理事業	9億4,017万9,735円
	介護保険	49億9,482万9,980円
合計	820億2,989万2,469円	780億3,605万1,901円

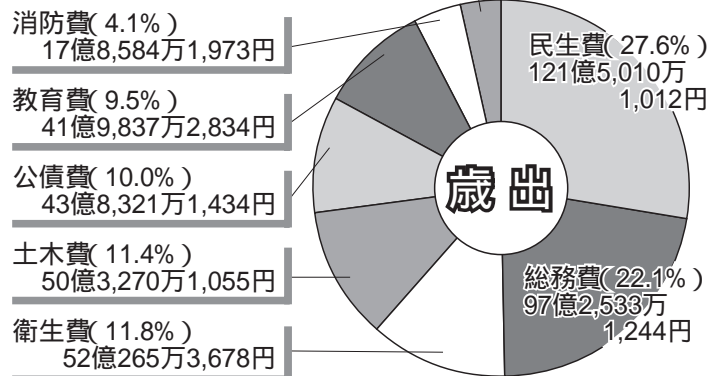
重点事業の決算

(表4)

総務費	中期基本計画策定事業	787万5,000円
	電子申請システム構築事業	557万9,087円
	公共施設予約システム整備事業	2,341万5,000円
	地区まちづくり推進事業	466万6,930円
	人間基地周辺共同受信施設設置事業	4,276万209円
民生費	税徴収システム設置事業	177万6,600円
	税総合システム構築事業	1億8,463万1,787円
	指定管理者制度導入事業	1億1,224万1,900円
	(仮称)住民参加型福祉センター整備事業	5,323万9,200円
衛生費	介護予防啓発事業	195万円
	自立支援教育訓練給付事業	5万9,859円
	指定管理者制度導入事業	1億931万8,000円
	地球温暖化対策実行計画策定事業	420万円
	廃プラスチック類分別収集リサイクル事業	9,689万879円
労働費	ごみ収集車両整備事業	2,157万7,500円
	資源ごみ収集車両整備事業	863万1,000円
	リサイクルプラザ整備事業	15億3,033万4,895円
	雇用促進システム整備事業	75万6,000円
農林水産業費	指定管理者制度導入事業	5,650万円
	基盤整備促進事業	3,789万9,192円
商工費	指定管理者制度導入事業	694万円
	商店街環境整備事業	76万4,000円
土木費	木造住宅耐震診断補助事業	27万5,000円
	道路維持補修事業	3億996万3,632円
	一般市道整備事業	2億7,422万6,259円
	不老川橋りょう改修事業	1,911万円
	久保川河川整備計画策定事業	475万円
	いっ水対策事業	786万300円
	狭山市駅西口地区第一種市街地再開発事業	1億8,297万6,000円
	新都市機能ゾーン整備事業	5億4,051万4,319円
	入曽駅東口地区整備事業	856万8,000円
	狭山市駅霞野線整備事業	7,757万9,666円
	緑地公有地化事業	4,208万3,380円
	くぬぎ山地区自然再生事業	7万2,035円
	指定管理者制度導入事業	1億5,416万8,008円
消防費	智光山公園整備事業	4,900万2,585円
	消防特殊資器材整備事業	256万4,000円
	消防緊急通信指令システム整備事業	3,208万8,000円
	消防機械施設整備事業	4,455万7,000円
教育費	地域防災無線整備事業	5,067万5,000円
	地域防災計画等策定事業	98万8,000円
	教育センター改修事業	1,099万8,000円
	小中学校校務員配置事業	3,092万4,592円
	小中学校トイレ改修事業	2,802万4,500円
	小学校校舎耐震補強設計事業	1,291万5,000円
	小学校校舎大規模改造事業	1億9,971万円
	中学校校舎耐震診断事業	908万2,500円
七曲井崩落防止事業	602万7,000円	
指定管理者制度導入事業	6,110万6,179円	

商工費(1.0%).....4億5,147万7,945円
 労働費(1.0%).....4億3,653万1,091円
 議会費(0.7%).....3億2,146万5,123円
 農林水産業費(0.7%)...3億1,153万6,348円
 諸支出金(0.1%).....3,862万1,031円

(グラフ2)



性質別内訳

(表3)

一人当たりの歳出(表2)

項目	金額
人件費	105億6,797万円
扶助費	64億1,651万8千円
物件費	63億7,407万2千円
繰出金	47億5,037万2千円
普通建設事業費	46億757万8千円
積立金	44億8,425万2千円
公債費	43億8,316万4千円
補助費等	14億7,698万5千円
投資及び資金貸付金	6億8,456万2千円
維持補修費	2億9,237万2千円
合計	440億3,784万5千円

項目	金額
民生費	7万6,369円
総務費	6万1,129円
衛生費	3万2,701円
土木費	3万1,633円
公債費	2万7,551円
教育費	2万6,389円
消防費	1万1,225円
商工費	2,838円
労働費	2,744円
議会費	2,020円
農林水産業費	1,958円
諸支出金	243円
合計	27万6,800円

問合せ財政課へ
内線 7113

年度に比べ1.9%の減となり、続いて、扶助費、物件費、繰出金の順になっています。
 表4は、重点事業の決算で、中期基本計画の策定、税総合システム構築などのソフト事業をはじめ、指定管理者制度導入、リサイクルプラザの整備、道路の維持補修、狭山市駅西口再開発事業、小学校校舎の大規模改造など、さまざまな事業を行いました。

平成18年度 水道事業会計決算状況

問合せ水道業務課へ内線2312

平成18年度の水道事業会計決算が認定されましたのでお知らせします。

●収益的収入と支出

収入31億6,926万9,892円 支出30億2,646万7,728円
 利益剰余金(税抜)1億689万7,188円は、減債積立金に積み立てました。

●資本的収入と支出

収入2億3,942万2,700円 支出11億6,788万3,837円
 不足額9億2,846万1,137円は、留保資金などで補てんしました。

●給水原価の内訳

水道水1m³当たりの給水原価(製造価格)は、162.21円です。

